

# 授業科目 循環器・代謝系治療学

【担当教員名】 榑 淳裕	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	◎
【概要・一般目標：GIO】 心筋梗塞や心不全などの循環器系疾患、肥満や糖尿病、腎疾患などの代謝系の疾患の生理的変化と障害による病態変化について学んだ知識を活用して、運動療法介入の理論的背景を理解し、治療方法・治療効果について学ぶ。また、各種疾患のリハビリテーションにおける理学療法の位置付けや役割を学習し、体系的な治療方法及び治療効果について理論的考察を行う。				
【学習目標・行動目標：SBO】				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内部障害理学療法の位置づけと対象について、説明できる。</li> <li>2. 心臓機能の障害とそれによってもたらされる運動制限について、説明できる。</li> <li>3. 代表的な疾患をもとに、根拠に基づいた循環器疾患の理学療法を計画できる。</li> <li>4. 循環器疾患の理学療法の効果とその機序について、論理的に説明できる。</li> <li>5. 循環器疾患のリスク管理について説明できる。</li> <li>6. 代表的な疾患をもとに、根拠に基づいた代謝疾患の理学療法を計画できる。</li> <li>7. 代謝疾患の理学療法の効果とその機序について、論理的に説明できる。</li> </ol>				
回数	授業計画・学習の主題		SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	内部障害理学療法の位置づけと対象		1	講義
2	心臓機能の障害と運動制限		2	講義
3	循環器疾患の理学療法：虚血性心疾患		3,4	講義
4	循環器疾患の理学療法：心不全		3,4	講義
5	循環器疾患の理学療法：リスク管理		5	講義
6	代謝疾患の理学療法：糖尿病・肥満		6,7	講義
7	代謝疾患の理学療法：腎障害		6,7	講義
8	まとめ		1-7	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>
教科書 (必ず購入する書籍)		標準理学療法学 専門分野 内部障害理学療法学	吉尾雅春、高橋哲也	医学書院 5,250円
参考書		内部障害系理学療法学	居村茂幸(編)	医歯薬出版 2006・4,000円+税
		循環器理学療法の理論と技術	増田卓、松永篤彦(編集)	メジカルビュー社 2009・5,700円+税
		理学療法学ゴールド・マスター・テキスト 6 内部障害系理学療法学	柳澤健(編)	メジカルビュー社 2010・4,500円+税
その他の資料				
【評価方法】 定期試験で60点以上であることが単位取得において必須である。その点数に小テストまたは課題、出席状況、意欲的に取り組む授業態度等を加味し、成績を総合的に評価する。 評価の割合は、定期試験90%程度、その他10%程度とする。		【履修上の留意点】 内科学や運動負荷学の理解が不可欠です。関連分野の復習をした上で、授業に臨んで下さい。		